


Play True

平成27年度文部科学省委託事業  
第1回加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会

## 教育・情報事業(国内) について

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
教育・情報グループ  
シニアマネージャー 打谷 桂子




JADA  
Japan Anti Doping Agency

Play True

## 平成26年度の国内における 教育・情報提供・啓発活動の報告

- アンチ・ドーピング研修会
  - 実施回数:138回
  - スポーツ振興基金助成金(アスリート助成)対象者への研修会の義務化
- アウトリーチプログラム
  - 実施回数:43回
  - NF独自での活動が促進される  
⇒5競技団体7回 独自でアウトリーチプログラムを展開
- アンチ・ドーピングに関する教材の実効性向上
  - 2015年規程に準拠した教材の展開  
PlayTrueBook、教育キット、2015年規程のポイント(リーフレット)等




※上記は文科省委託事業として実施したものととなります

JADA  
Japan Anti Doping Agency

Plus True

## 国内における 教育・情報提供・啓発活動 の方向性




JADA  
Japan Anti Doping Agency

Plus True

## アスリートサポートスタッフの重要性の増大と 我が国の教育・情報提供・啓発活動の在り方

全ての関係者が、それぞれの立場で主体的に関与し、我が国のスポーツの価値の向上のために連携を強化していくことが求められている。



- ・日本スポーツ振興センター
- ・日本アンチ・ドーピング機構
- ・統括組織
- ・国内競技連盟
- ・都道府県体育協会
- ・大会組織委員会

日本アンチ・ドーピング規程(2015年)により、  
「国内競技団体の役割と責務」として、**自己が主体となって**  
教育・情報提供・啓発活動の積極的に推進することが明示化

JADA  
Japan Anti Doping Agency

Play True

## JADAの連携 & サポート (今後の方針)

「競技種目」と「リスク」の2軸で競技毎に分類

【リスクの評価要因】

- ・国内違反
- ・WADAリスク評価 (身体的・心理的・社会的観点から)
- ・JADAリスク評価

【競技(種目)の評価要因】

- ・マルチサポート事業ターゲット競技種目 (国として求められているプライオリティ)
- ・オリンピック/パラリンピック種目
- ・アジア、YOG、RTP種目
- ・アジアユース、国体等

※国として求められているプライオリティから比重をかけて算定

➡ JADAが主体的に実施する範囲を再検討  
I ~ IVのカテゴリーに分類

**JADA**  
Japan Anti-Doping Agency

Play True

## NFとJADAの協働(今後の展開)

【課題】 2020に向けて世界からの注目・期待に耐え得る体制強化

**NFとJADAの協働による  
競技者/サポートスタッフへの教育・情報提供・啓発活動**

(役割)  
各団体が主体で  
加盟団体傘下の  
競技者/サポート  
スタッフに対する  
AD教育・情報提供・  
啓発活動の推進

**国内  
競技団体**

協働

**JADA**  
Japan Anti-Doping Agency

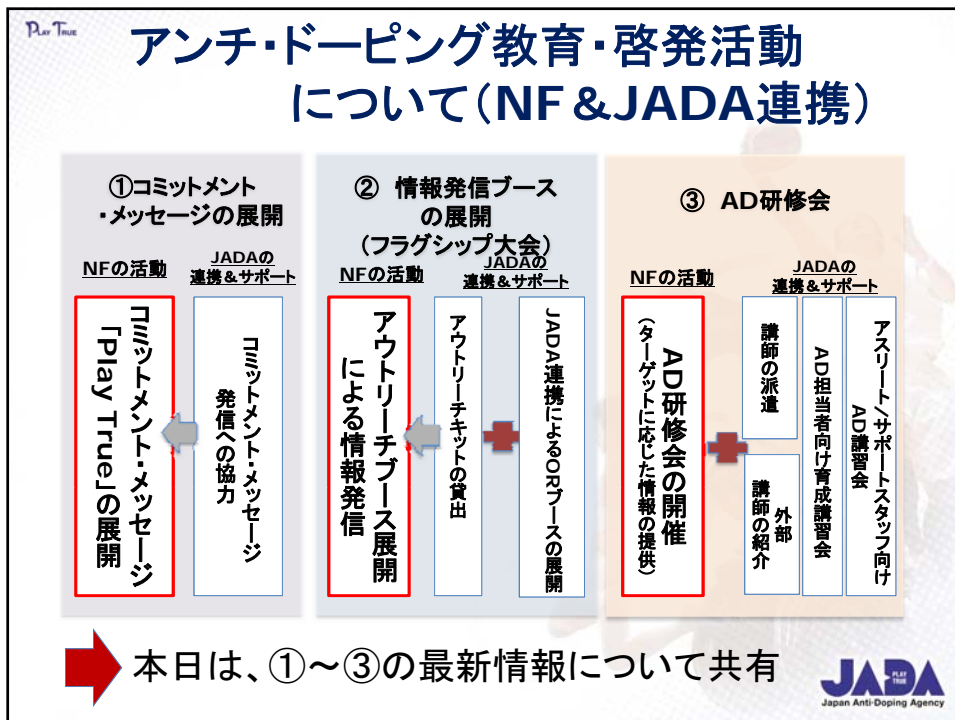
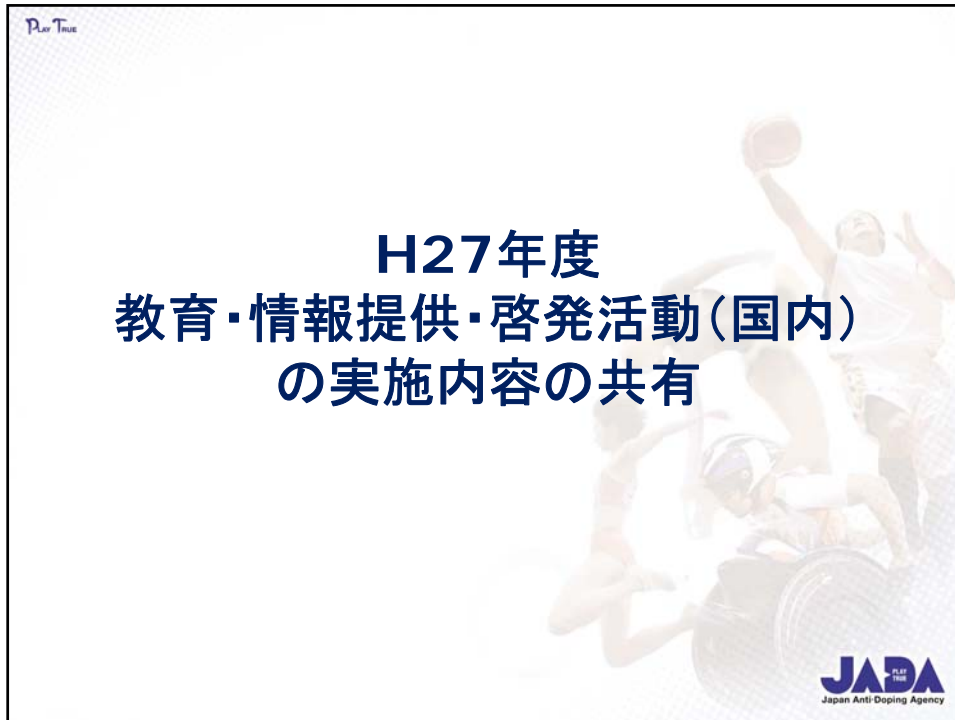
(役割)  
教育・情報提供  
啓発活動の計画、  
実施(支援)、評価、  
監督

競技者/サポートスタッフ   競技者/サポートスタッフ   競技者/サポートスタッフ   ...



**国内の競技者/サポートスタッフ  
支援のレベル合わせ**

➡ JADAが協働する範囲と関与度の再検討  
(JADAの役割: NFが主体的にAD教育・啓発活動を実施  
しやすい環境づくりに注力)


**JADA**  
Japan Anti-Doping Agency



Play True ①コミットメントメッセージの展開  
H27年度実施：大会プログラム版の刷新

目的	幅広い対象に向けた「Play True」のコミットメント発信 (アンチ・ドーピング活動の認識を高める)	
対象	アスリート一般、サポートスタッフ等 幅広い層 (競技レベルに関係なく)	
提供方法	希望団体ヘデータ(A1, A4, A5)にて提供	
活用方法 (例)	①大会要項の1ページ(又は1/2ページ)として掲載 ②印刷をして配布 ③ポスターに加工し掲示 等	
申込方法 (詳細別紙参照)	JADAホームページの「 <u>アンチ・ドーピング教育・啓発プログラム版希望調査</u> 」より申込み可能。  希望調査では、H27年度の活用計画について申告が必要となります。 ・活用方法 (①②③、その他から選択) ・活用場面 (例: 〇〇大会)  <b>申込み期間: 6月25日～7月17日(金)</b>	

Play True ②情報発信ブース(アウトリーチ)の展開  
H27年度実施：アウトリーチクイズの刷新

アウトリーチ展開の目的	大会等におけるアンチ・ドーピングの情報発信ブースの展開により、より多くのアスリートへクイズなどの楽しい体験を通じアンチ・ドーピングにふれる場を提供	
H27年度JADA連携対象大会	JADAより今年度のアウトリーチ実施大会については各NFへ連絡済み ※具体的な日程等は、 <b>NFより2カ月前迄にJADAへ「確認書」の提出</b>	
H27年度アウトリーチの目標	<b>アウトリーチ参加アスリートが、自ら行動できることを目標とし、配布するクイズ用紙については以下の点を特徴とする</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>✓クイズでアスリートの行動を促す 質問は「より行動を促す」内容へ</li> <li>✓自己の薬剤利用を管理する姿勢を重視 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Global DROの利用方法紹介、</li> <li>・スポーツファーマシストの紹介</li> </ul> </li> <li>✓Play True 宣言 クイズ終了時には、Play Trueを実現する行動をとることを宣言する</li> </ul>	

## ②情報発信ブース(アウトリーチ)の展開 H27年度実施:アウトリーチクイズのWeb対応

➤ アウトリーチクイズをWebでも実現  
(JADAのホームページからリンク予定)

スタート



質問(例)



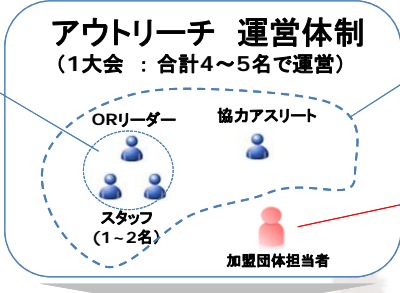
答え(例)



Japan Anti-Doping Agency

## NF & JADAの連携:アウトリーチ運営体制

**アウトリーチ 運営体制**  
(1大会 : 合計4~5名で運営)



ORリーダー  
スタッフの派遣  
:JADA

経費:JADA  
経費: 謝金及び交通費・宿泊費・日当等  
JADAの規程に準じてお支払

経費:加盟団体

**効果的なアウトリーチ実施に向けた  
加盟団体での推進事項(※)**

運営  
体制

1. アウトリーチへの協力アスリートの派遣
2. 加盟団体の担当者のアウトリーチへの関与

情報  
発信

1. 事前のアウトリーチの告知 (大会要項等への掲載等)
2. 当日のアウトリーチの告知 (大会会場内でのアナウンス等)
3. 大会での積極的な情報発信(休憩時のビデオ放映・横断幕の掲示)

(※)「②情報発信ブース (フラグシップ大会)」においてこれらの実施対応をお願いします

Japan Anti-Doping Agency



PLA True

## (事例) NF主体のアウトリーチ展開



大会前日の監督者会議にてアンチ・ドーピングについて研修会(NFにて実施)

(一社)水中スポーツ

第27回フィンスイミング日本選手権大会  
(5月10日)@横浜国際プール



閉会式にて酒井選手(アジアインドアゲーム銀メダリスト)により、アンチ・ドーピングについて言及、アウトリーチの告知を行う

酒井選手がアウトリーチに参画アスリートの声を届ける

事前にJUSFのホームページでアウトリーチの告知

JUSFの目的	お知らせ	NEWS!
JUSF役員一覧	お知らせ	お知らせ
リンクページ	お知らせ	お知らせ
JUSFへの連絡先	お知らせ	お知らせ

PLA True

## ③ アンチ・ドーピング研修会

加盟団体/県体協での活動(研修会)

AD研修会の実施  
ターゲットに応じた情報の提供(※1)

JADAより「教育キット」を提供しています。各団体で研修会を実施する場合に活用ください

講師の派遣希望の場合は、研修会の2カ月前を目途にJADAへ連絡

JADAの連携&サポート

JADA 講師の派遣 職員又は JADA講師 (※2)

JSC助成アスリート (JADA-RTP)×G 研修会

JADA講師の紹介

AD研修会

① AD講師向け養成研修会  
対象:加盟団体/県体協等各区SAD担当事業

② AD研修会  
対象:全アスリート(※3)  
サポート:スタッフ(監督・コーチ)

教育キット提供(※1) 活用方法


平成27年度より開始予定

(※1) 加盟団体/県体協/高体連の活動: 教育キット活用 随時申請可能

(※2) 講師を派遣するターゲット層と回数は、各競技団体と協議の上決定  
対象:RTPA、ナショナルチームトップレベルを推奨

(※3) パフォーマンスレベルの限定なし

注) 2016年3月実施分について、費用は各NF負担となります。  
(適応開始月は、年度によって異なりますので、別途ご連絡します)



Japan Anti-Doping Agency

Plus True

## JADA主催の研修会日程(予定)

**①アンチ・ドーピング講師向け養成講習会**

目的： 所属団体が主体となって実施するアンチ・ドーピング教育活動で講師等として対応する方々への情報提供を目的として実施  
 内容： アンチ・ドーピングに関する教育教材の活用方法を説明  
 対象： 加盟団体/県体育協会内のアンチ・ドーピング担当者  
 (各団体より推奨された方)  
 日程： 9月10日(木) 18:30～20:30 場所： 都内会場又はNTC

**②アンチ・ドーピング研修会**

目的： アスリートやサポートスタッフに向けて、アンチ・ドーピングの基本的な理念、ルールについての理解をはかる。  
 内容： アンチ・ドーピングの理念、基本的なルールについて (予定)  
 対象： アスリート(パフォーマンスレベルの限定なし)、サポートスタッフ  
 日程： 9月24日(木) 18:00～19:30 場所： JISS  
 10月24日(土) 10:00～11:30 場所： NTC

**7月中旬頃には加盟団体及び都道府県体育協会へ  
 開催要項を文書にて通知予定**

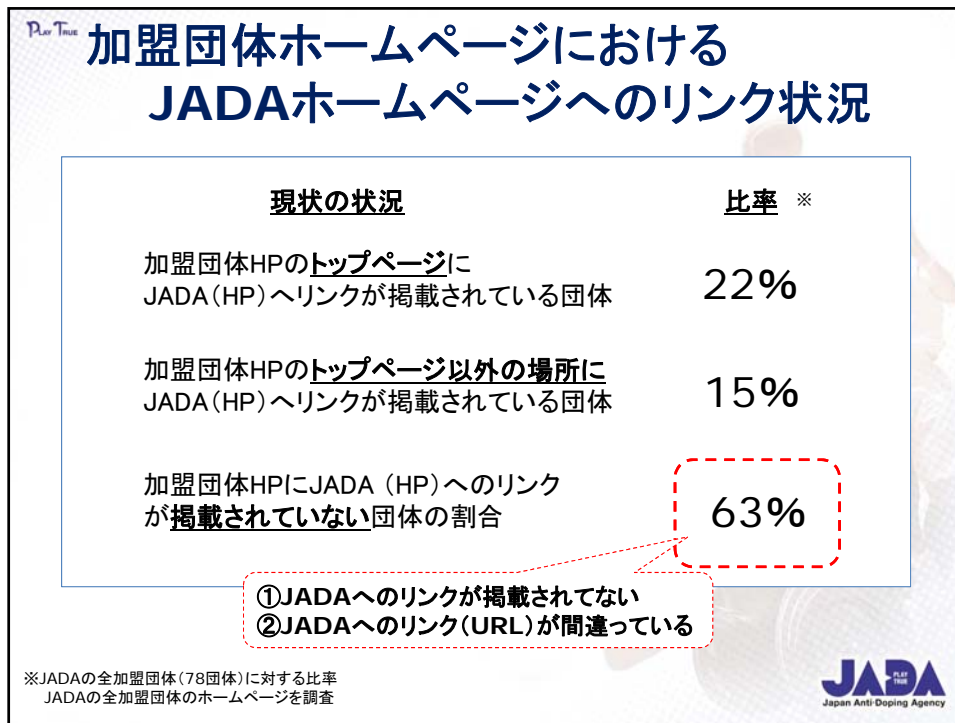
JADA  
 Japan Anti Doping Agency

Plus True

## 円滑な情報発信 に向けて

JADA  
 Japan Anti Doping Agency





Plus True

## 加盟団体ホームページからの リンク状況(事例)




公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

**Error 404 Page**

**JADAへのリンクページ  
に誤りがある！(例)**


Oops, This Page Could Not Be Found!



財)日本アンチ・ドーピング機構  
IARA

**様々なロゴが  
利用されている！(例)**

**JADA**  
公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



銀座カラー ロコミ

銀座カラーの脱毛で綺麗に

脱毛サロン銀座カラーに行ってきました。正産毛感とロコミです。ありのままに書いて  
くれた高い。ワキ脱毛や全身脱毛をはじめ、VIO脱毛といったデリケートゾーンもできます。

**JADAへのリンク(URL)  
に誤りがある！(例)**

Japan Anti-Doping Agency

Play True

## JADAホームページへのリンク

**目的** 加盟団体による、傘下アスリート、サポートスタッフ等へ正しい情報の提供（日本アンチ・ドーピング規程 23条）

**JADAのホームページへリンク  
「最新情報の掲載」**



すべてのアスリートに、大切なお知らせです。 [もっと知る](#)



JAAFは、PLAY TRUE を推進します。  
すべてのアスリートに、大切なお知らせです。 [もっと知る](#)

**GlobalIDROと  
スポーツファーマシストページへ  
「アスリートの自主的な行動を促進」**



使用可能薬の検索  
アスリート自身で確認!  
presented by JADA



薬の正しい使い方  
薬の専門家に相談!  
presented by JADA

**バナー希望調査を6月25日～7月17日迄実施**



Play True

## 教育に関する希望調査スケジュール

（提出期限とJADAからの提供時期）

実施内容	対象	提出期限	JADAからの提供時期
①プログラム版の希望調査	NF 都道府県体協	7/17	希望団体へ 8月中旬頃迄 データ展開
②バナー掲載の希望調査	NF 都道府県体協	7/17	希望団体へ 8月中旬頃迄 データ展開
③Play True Bookの希望調査	NF	7/17	8月末迄 発送予定
④教育・情報活動シート 来年度の研修会・アウトリーチ 希望調査	NF	11月末	NFヒアリング時に 回答予定

調査提出方法：①②③についてはJADAホームページより  
④については、別途案内



PLAY TRUE 2020 SPORT FOR TOMORROW

# 国際アスリートフォーラム for 2020



**2015.10/1, 2**

**10/2**  
**17:00@NTC 開催!**  
▶対象:ユースアスリート  
中心

「クリーンアスリート各々が担う、自身が大切に  
するメッセージの発信がスポーツを育てる」

**2020年に向けた、日本からの発信!**

